



平成22年11月11日

各 位

ソーシャル・エコロジー・プロジェクト株式会社  
代表取締役社長 矢島 誠  
(コード番号 6819)  
問い合わせ先  
IR担当執行役員 関本 秀貴  
電話番号 03-5786-3900

## 特別損益の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年11月11日開催の取締役会にて平成23年3月期第2四半期において下記のとおり特別損益を計上するとともに、平成22年5月20日に発表いたしました平成23年3月期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の第2四半期及び通期業績予想（連結・個別）を修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の発生について

##### 前期損益修正益【連結】

平成22年3月期決算にて計上しました関係会社株式評価損につきまして、計上額算定の一部に誤りがあり、当社と当社の監査法人で協議した結果、当第2四半期決算にて修正処理をおこないました。これにより、連結で22百万円を特別利益として計上いたします。

上記の影響等により、個別で7百万円、連結で30百万円を特別利益として計上いたします。

#### 2. 特別損失の発生について

##### (1) 事業構造改善引当金繰入額【連結】

平成22年8月13日付「子会社に係る事業の一部廃止に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社の100%子会社であります株式会社サボテンパークアンドリゾートの過去3年に渡り不採算事業として営業赤字にあった山手スピチュアルホテル事業から経営改善の実をあげるため、9月末に撤退いたしました。この事業廃止に伴う費用を一括計上し、事業構造改善引当金繰入額として44百万円を特別損失として計上いたします。

##### (2) 貸倒引当金繰入損【連結・個別】

当社グループ会社への貸付金等の回収可能性について厳密に精査した結果、貸付先の業績悪化等を勘案し、貸倒引当金繰入損として16百万円を計上いたします。

これらの影響により、個別で18百万円、連結で62百万円を特別損失として計上いたします。

### 3. 連結業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想(A)	1,450	8	5	5	0.02
今回修正(B)	1,285	△80	△90	△104	△0.49
増減額(B-A)	△164	△88	△95	△109	—
増減率(%)	△11.3	—	—	—	—
(ご参考) 平成22年3月期 第2四半期実績	1,638	△18	△8	△50	△0.25

#### (2) 修正理由

当第2四半期累計期間における売上高につきまして、平成23年3月期第1四半期の売上高は当初予想を下回る結果となりましたが、例年、第2四半期会計期間に売上高が増加することから、当初予想まで回復する見込みでした。しかし、当第2四半期のレジャー事業においては、本年夏季における猛暑の影響により、プール部門は好調であったものの、当社の保有する施設が屋外型ということから、当該事象がマイナス要因となり、当社グループの運営する施設全体における夏季繁忙期の入場者数は、当初の計画を下回る結果となりました。これらの要因により、当初の予想より売上高は減少しました。

利益面につきましては、売上高減少とともに、景気の悪化等の外的要因によるお客様単価の減少も影響し、当初の予想より営業利益は88百万円、経常利益は95百万円減少する見込みです。

また、当期純利益につきましては、平成23年3月期第1四半期に計上しました特別利益(19百万円)及び前述1.2に記載の特別損益の発生により、当期純利益は予想金額より109百万円減少する見込みです。

(3) 通期累計期間(平成22年4月1日～平成23年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想(A)	2,850	15	10	10	0.05
今回修正(B)	2,298	△133	△123	△120	△0.56
増減額(B-A)	△552	△148	△133	△130	—
増減率(%)	△19.4	—	—	—	—
(ご参考) 平成22年3月期実績	2,998	△168	△148	△195	△0.93

#### (4) 修正理由

通期の業績予想につきましては、第2四半期までの業績の状況を踏まえ、減額修正となります。しかし、今年上半期において、経営改革を断行し大幅な経費の削減を行ったことや冬から春へのオフシーズンにおいて、さまざまなキャンペーンやイベントを開催、年間パスポートの発行に取り組むなど前年同期比で入場者数の増加を見込んでおります。このため、下半期は売上高の回復が見込まれることから、営業利益は148百万円、経常利益は133百万円、当期純利益は130百万円の減少にとどまる見込みです。

#### 4. 個別業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想 (A)	100	△42	△36	△37	△0.17
今回修正 (B)	75	△73	△74	△66	△0.31
増減額 (B-A)	△24	△31	△38	△29	—
増減率 (%)	△24.7	—	—	—	—
(ご参考) 平成22年3月期 第2四半期実績	123	△72	△52	△141	△0.69

#### (2) 修正理由

当社個別における第2四半期累計期間につきましては、保有しております債権の回収及び保有資産の売却が景気悪化の影響もあり、当初の計画を下回りました。これらの影響により、当初の予想より売上高が減少いたしました。利益面につきましても、売上高の減少に伴い営業利益は31百万円、経常利益は38百万円減少する見込みです。

また、当期純利益におきましては上記理由に加え、平成23年3月期第1四半期に計上しました特別利益（19百万円）及び前述2に記載の特別損失（16百万円）等の発生により、当初の予想より29百万円減少する見込みです。

(3) 通期累計期間（平成22年4月1日～平成23年3月31日）（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回予想 (A)	200	△85	△73	△74	△0.34
今回修正 (B)	149	△119	△119	△93	△0.43
増減額 (B-A)	△51	△34	△46	△19	—
増減率 (%)	△25.5	—	—	—	—
(ご参考) 平成22年3月期実績	222	△139	△117	△173	△0.83

#### (4) 修正理由

通期の業績予想につきましては、第2四半期の業績の状況を踏まえ、引き続き厳しい経営環境となることが予想され、当社が保有しております債権の回収及び保有資産の売却について、当初の計画を下回ることが予想されることから、営業利益は34百万円、経常利益は46百万円、当期純利益は19百万円減少する見込みです。

※ 今回の業績予想修正値は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した数値であり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以上